

- 道路・鉄道・航空・船舶の各交通機関を組み合わせて、総合的に交通体系の分析を行うためのシステム。
- 経路探索と合わせて所要時間や費用の算出、圏域図の作成、人口データとの組合せによる高度な分析等が可能であり、交通基盤施設の現状や整備効果等を視覚的・定量的に把握可能。
- 無償で利用でき、施策立案や調査研究における分析作業の効率化に寄与。

## NITASの主な特徴

### (1) 多様な条件設定による複数地点間の一括経路探索

#### ◇ 過去・将来の交通ネットワークを収録

任意の時点での分析や、経年変化を捉えることが可能

#### ◇ 利用する交通手段・交通ネットワークの編集

災害等を想定した任意のネットワークを不通とした場合の分析が可能

### (2) 圏域図の作成

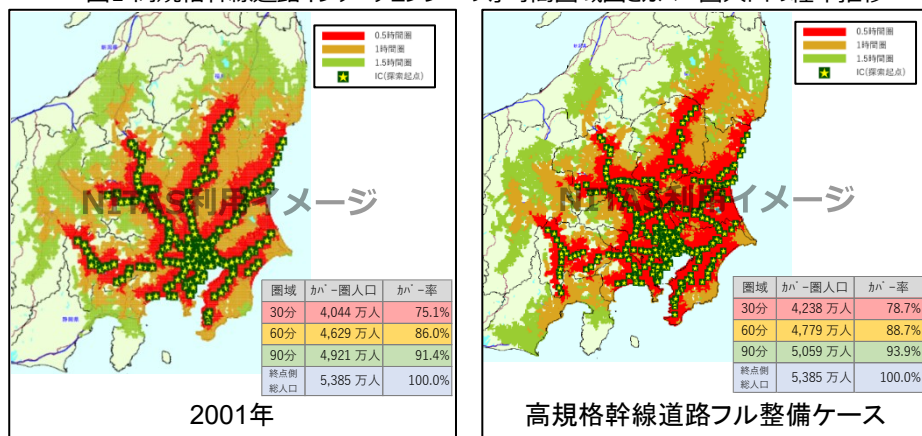
経路探索結果をもとに時間圏域図、距離圏域図の作成が可能

### (3) 統計データとの組合せによる分析

国勢調査の人口データ等を収録しており、経路探索結果との組合せによるカバー圏人口等が計算可能

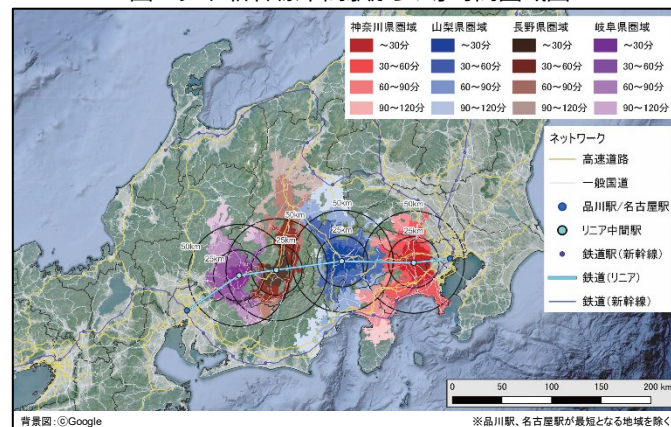
## NITASを用いた分析事例

図1 高規格幹線道路インターチェンジへの等時間圏域図とカバー圏人口の経年推移



NITAS ver3.1を用いて作成

図2 リニア新幹線中間駅からの等時間圏域図



NITAS ver2.7を用いて作成

出典:リニア中間駅(4駅)を中心とする地域活性化に関する検討委員会  
『リニア中央新幹線中間駅を核とする「新たな広域中核地方圏」の形成』令和5年10月